



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.4

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染予防を継続しつつ、「ウィズコロナ（コロナと共に）」と意識を変えていくことが求められています。婦人会では、COVID-19と上手に付き合うためにさまざまな活動を続けています。

そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介します。

<鹿児島県結核成人病予防婦人会（伊仙町地域女性団体連絡協議会）>

鹿児島県伊仙町では、町の地域おこし協力隊とタッグを組んで、マスクを手作りしました（写真1）。最初はキッチンタオル素材で200枚作製して、養護老人ホーム、介護施設および医療関係施設に寄贈しました（写真2）。続いて、教育長から教育機関配布用の布マスクの要請を受け、720枚を町に寄贈し（写真3）、町役場で贈呈式を行い（写真4）、2保育所、8小学校、3中学校に配布されました。

マスク不足の状況下で会員から自発的にマスク作りの声上がり、各自で材料集めを行い、換気を徹底した作業場で分担し、3密にならないよう心掛けました。本活動を通じて、会員同士の心が一つになり、成し遂げた達成感と連帯感で、今後の活動に前向きに取り組む機運が高まりました。

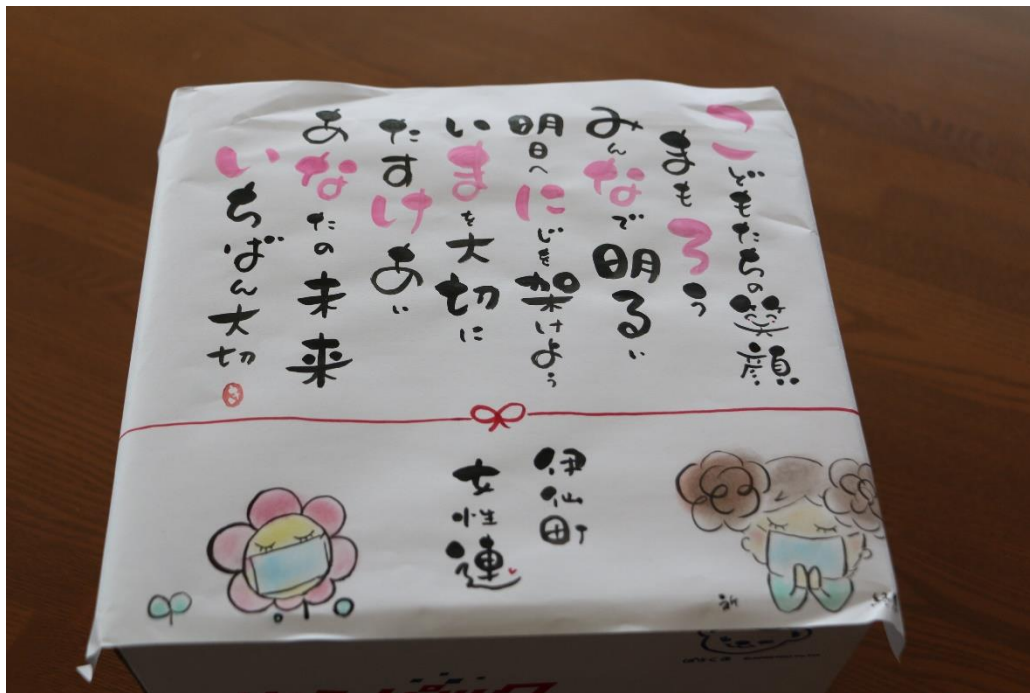


写真1 町へ寄贈した布マスク



写真2 高齢者施設でも喜ばれました！



写真3 作製スピードアップ中



写真4 伊仙町役場での贈呈式の様子